

株主通信

第82期 事業報告書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)





日本高周波鋼業株式会社
代表取締役社長 池田 辰雄

株主の皆様にはますますご清栄のことと存じ上げます。

第82期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な原油・原材料価格の上昇や米国経済の減速などの懸念材料があったものの、企業収益の改善を受けた設備投資の増加や、雇用情勢の改善による個人消費の拡大など民間需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。また海外におきましても、中国をはじめとするアジア経済は引き続き高水準の成長を維持いたしました。

鉄鋼業界におきましても、需要が総じて堅調に推移した結果、粗鋼生産は1億1,775万トン(前期比+4.5%)と、過去2番目の高水準となりました。

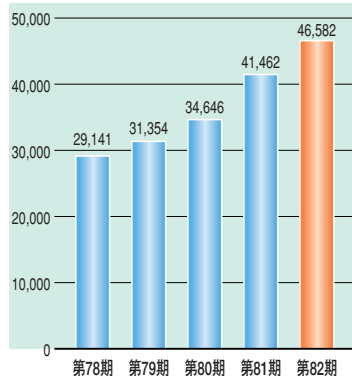
特殊鋼業界におきましても、製造業向けを中心に高水準な生産を維持した結果、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は5年連続で過去最高となる、2,128万トン(前期比+4.4%)となりました。

このような状況のもと、当社グループは06~08年度を実行期間とする中期計画「CAP875^(注)」を策定し、多様化・高度化するユーザーニーズに応えられる「ものづくり力の強化」と「製品構成の高度化と現有生産設備の最大活用による最大利益の確保」を基本方針として、安定高収益体制の構築に向けての取り組みを開始いたしました。

財務ハイライト

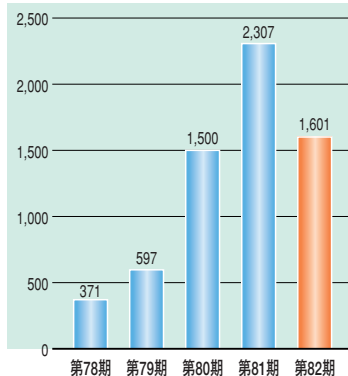
売上高

(単位:百万円)



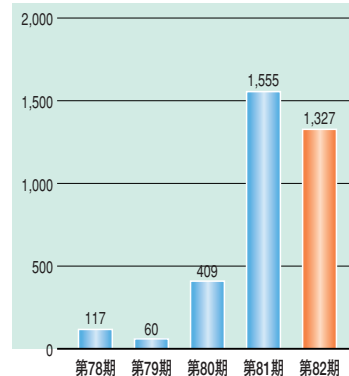
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



た。しかしながら、当社グループを取り巻く環境につきましては、ニッケルをはじめとする主要原材料の一部が歴史的高値を記録するなど、極めて厳しい状況のうちに推移いたしました。

この結果、売上高は販売価格の改善と数量の増加により前期に比べ12.3%増加し、46,582百万円となりましたが、経常利益は前期に比べ30.6%減少し1,601百万円となりました。また、当期純利益につきましては前期に比べ14.6%減少し、1,327百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、国内経済は底堅く推移するものと予想されますが、米国経済の減速が懸念されるうえ、不安定な中国経済の動向など不安材料も多く、楽観できない状況にあります。

また、当社グループの主要需要先であります自動車業界の小型・軽量化への取り組みによる数量の伸び悩みや、ニッケルをはじめとした原材料価格の高止まりなど、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況であります。

こうした状況の中で当社グループは、従来にも増して品質アップ、コストダウンを中心とした「ものづくり力」の向上を推進するとともに、原材料価格の高騰に対応して販売価格の適正化を進めるなど、収益力の強化を推進してまいります。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

(注)

CAP=

[C=Creative(創造)、

A=Active(活力)、

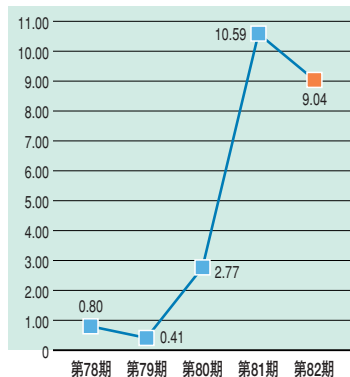
P=Prompt(迅速)]

875=

[8=売上高経常利益率8%以上、
75=損益分岐点比率75%以下]

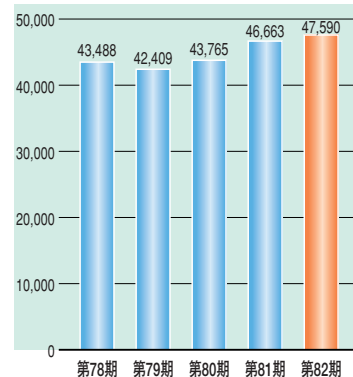
1株当たり当期純利益

(単位：円)



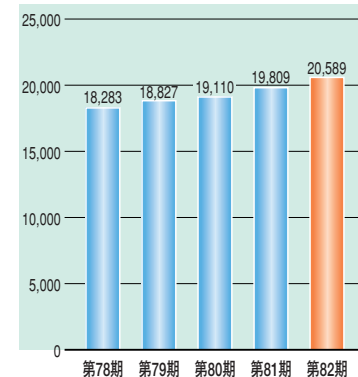
総資産

(単位：百万円)

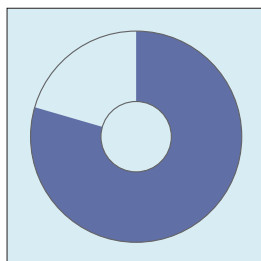


純資産

(単位：百万円)



特殊鋼部門



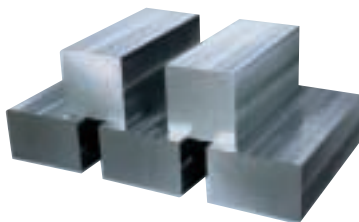
特殊鋼部門全体では、販売価格の改善と数量の増加により売上高は13.8%増加し、37,012百万円となりました。利益面では原材料価格の高騰や高付加価値品の数量の伸び悩みなどの厳しい状況に直面いたしました。全社を挙げたコストダウンにより、営業利益は前期に比べ43.7%減少したものの、1,153百万円を確保いたしました。

特殊鋼部門

工具鋼分野

工具鋼分野では、売上高は前期に比べ10.0%増加し、17,201百万円となりました。高度化するユーザーニーズに対応すべく、生産設備の増強および直系の流通子会社である(株)カムスの機能強化を行い拡販にとめました。

- 需要の増大が見込まれる中国向けを中心とした輸出の拡大
- 鋼材から成型加工、熱処理、表面処理までの一貫した生産技術力の強化
- 広島・九州地区への国内流通ネットワークの拡大



特殊鋼部門

特殊合金分野



特殊合金分野では、売上高は前期に比べ29.4%増加し、13,629百万円となりました。独自性のある難加工材の二次加工生産技術の強化により、高性能素材の拡大を図りましたが、ニッケルをはじめとした原材料価格の高騰等により、損益は大きく圧迫されました。

- 難加工材の二次加工生産技術の強化
- 電子材料や特殊溶接材料の拡販

特殊鋼部門

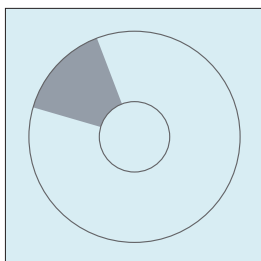
軸受鋼分野

軸受鋼分野では、売上高は前期に比べ2.5%減少し、6,181百万円となりました。

- 神戸製鋼グループとしての最適生産体制の構築と競争力強化

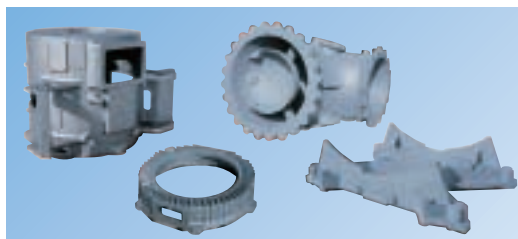


鑄鉄部門

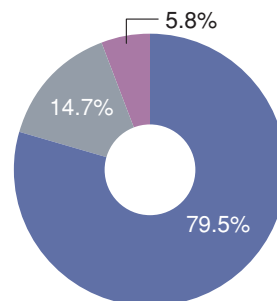


主要需要業界である建設機械・自動車業界が堅調に推移したことに加えて、市場ニーズに対応した積極的な新規開拓を行った結果、売上高は前期に比べ13.5%増加し、6,848百万円となりました。営業利益は前期に比べ9.2%増加し、464百万円となりました。

- 建設機械業界の旺盛な需要の取り込み
- 造船を含めた新規分野での拡販

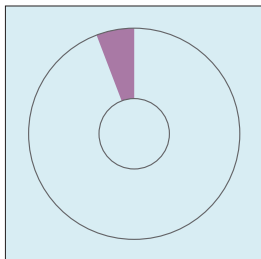


セグメント別売上高比較



■ 特殊鋼	37,012百万円
■ 鑄鉄	6,848百万円
■ 金型・工具	2,721百万円

金型・工具部門



最大の需要業界である自動車業界におけるミッションのCVT化^(注)の進展により、得意とするオートマチックトランスミッション用金型部品の需要が減退したことや金型寿命の延長による受注の減少により、売上高は前期に比べ6.7%減少し、2,721百万円となり、営業利益も34.8%減少し、70百万円となりました。

- 更なる短納期への挑戦
- 徹底したコストダウンにより競争力の強化
- 将来の柱となる新規製品の開発

(注)
CVT=連続可変トランスミッション
(Continuously Variable Transmission)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成18年度 (平成19年3月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
資産の部	47,590	46,663
流動資産	25,669	24,263
現金及び預金	435	1,187
預入金	1,113	1,488
受取手形及び売掛金	10,725	9,337
たな卸資産	12,867	11,636
その他	542	628
貸倒引当金	△15	△15
固定資産	21,921	22,399
有形固定資産	20,021	19,949
建物及び構築物	3,376	3,561
機械装置及び運搬具	8,019	8,446
土地	7,533	7,543
その他	1,092	399
無形固定資産	111	119
投資その他の資産	1,788	2,330
投資有価証券	1,329	1,961
その他	582	532
貸倒引当金	△122	△163
資産合計	47,590	46,663

	平成18年度 (平成19年3月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
負債の部	27,001	26,853
流動負債	18,866	17,784
支払手形及び買掛金	10,584	9,012
社債（1年以内償還）	—	200
短期借入金	5,151	5,168
長期借入金(1年以内返済)	397	273
その他	2,733	3,130
固定負債	8,134	9,069
長期借入金	228	606
その他	7,906	8,463
少数株主持分	—	—
少数株主持分	—	—
資本の部	—	19,809
資本金	—	15,669
資本剰余金	—	1,728
利益剰余金	—	1,162
土地再評価差額金	—	732
株式等評価差額金	—	528
自己株式	—	△11
負債・少数株主持分及び資本合計	—	46,663
純資産の部	20,589	—
株主資本	19,501	—
資本金	15,669	—
資本剰余金	1,728	—
利益剰余金	2,120	—
自己株式	△16	—
評価・換算差額等	1,087	—
其他有価証券評価差額金	353	—
土地再評価差額金	734	—
負債及び純資産合計	47,590	—

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	平成18年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	平成17年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	46,582	41,462
売上原価	40,705	34,953
販売費及び一般管理費	4,188	3,926
営業利益	1,689	2,581
営業外収益	250	267
営業外費用	337	541
経常利益	1,601	2,307
特別利益	227	28
特別損失	67	228
税金等調整前当期純利益	1,761	2,108
法人税、住民税及び事業税	408	681
法人税等調整額	25	△128
当期純利益	1,327	1,555

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	平成18年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	平成17年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,094	2,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	△814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△920	△719
現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△1,127	748
現金及び現金同等物の期首残高	2,675	1,927
現金及び現金同等物の期末残高	1,548	2,675

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

連結株主資本等変動計算書 平成18年度 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	土地再評 価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	15,669	1,728	1,162	△11	18,548	528	732	1,261	19,809
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△366		△366				△366
役員賞与			△0		△0				△0
当期純利益			1,327		1,327				1,327
土地再評価差額金取崩額			△1		△1				△1
自己株式の取得				△4	△4				△4
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△174	1	△173	△173
連結会計年度中の変動額合計	—	—	958	△4	953	△174	1	△173	780
平成19年3月31日残高	15,669	1,728	2,120	△16	19,501	353	734	1,087	20,589

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

単体貸借対照表

(単位：百万円)

	平成18年度 (平成19年3月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
資産の部	42,545	41,976
流動資産	20,870	19,273
現金及び預金	85	306
預入金	442	941
受取手形及び売掛金	9,032	7,873
たな卸資産	10,642	9,487
その他	681	675
貸倒引当金	△14	△12
固定資産	21,675	22,703
有形固定資産	18,224	18,266
建物及び構築物	3,006	3,189
機械装置及び運搬具	7,186	7,681
土地	7,102	7,111
その他	929	284
無形固定資産	18	22
投資その他の資産	3,432	4,413
投資有価証券	1,299	1,795
関係会社株式	1,688	1,824
その他	532	907
貸倒引当金	△87	△114
資産合計	42,545	41,976

	平成18年度 (平成19年3月31日現在)	平成17年度 (平成18年3月31日現在)
負債の部	22,162	21,905
流動負債	15,566	14,370
支払手形及び買掛金	8,297	6,879
短期借入金	4,996	4,996
長期借入金(1年以内返済)	327	198
その他	1,945	2,297
固定負債	6,595	7,534
長期借入金	204	514
その他	6,390	7,019
資本の部	—	20,070
資本金	—	15,669
資本剰余金	—	1,728
利益剰余金	—	2,396
土地再評価差額金	—	△233
株式等評価差額金	—	521
自己株式	—	△11
負債・資本合計	—	41,976
純資産の部	20,383	—
株主資本	20,269	—
資本金	15,669	—
資本剰余金	1,728	—
利益剰余金	2,887	—
自己株式	△16	—
評価・換算差額等	114	—
その他有価証券評価差額金	346	—
土地再評価差額金	△231	—
負債・純資産合計	42,545	—

(注)金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

単体損益計算書

(単位：百万円)

	平成18年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	平成17年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	34,168	30,002
売上原価	31,233	26,088
販売費及び一般管理費	2,274	2,086
営業利益	659	1,827
営業外収益	683	579
営業外費用	661	833
経常利益	682	1,574
特別利益	212	19
特別損失	48	177
税引前当期純利益	846	1,416
法人税、住民税及び事業税	△13	283
法人税等調整額	—	△55
当期純利益	859	1,187
土地再評価差額金取崩額	—	△16
前期繰越利益	—	1,225
当期末処分利益	—	2,396

(注) 金額は百万円未満の端数を切り捨てております。



単体株主資本等変動計算書 平成18年度 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本							評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土地 再評価 差額金		評価・ 換算 差額等 合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計						
平成18年3月31日残高	15,669	1,728	1,728	—	2,396	2,396	△11	19,783	521	△233	287	20,070
事業年度中の変動額												
剰余金の配当				36	△403	△366		△366				△366
当期純利益					859	859		859				859
土地再評価差額金取崩額					△1	△1		△1				△1
自己株式の取得							△4	△4				△4
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)									△174	1	△172	△172
事業年度中の変動額合計	—	—	—	36	454	490	△4	485	△174	1	△172	312
平成19年3月31日残高	15,669	1,728	1,728	36	2,851	2,887	△16	20,269	346	△231	114	20,383

(注) 金額は百万円未満の端数を切り捨てております。

会社概要

(平成19年3月31日現在)

- 会社名 日本高周波鋼業株式会社
- 設立 昭和25年5月18日
- 資本金 156億69百万円
- 所在地 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL.(03)5687-6023(代) FAX.(03)5687-6047
- 上場 東京証券取引所1部上場
- 売上高 連結 465億82百万円 (平成18年度実績)
単体 341億68百万円 (平成18年度実績)
- 代表者 代表取締役社長 池田 辰雄
- 従業員数 連結 1,129名
単体 549名
- 事業内容 高級特殊鋼および超合金の製造販売
各種高級特殊鋼および超合金の線・棒・鍛造品・加工品、
冷間圧造品、複合成形品
- 主要取引銀行 みずほコーポレート、三井住友、三菱東京UFJ、みずほ信託、
三菱UFJ信託、富山第一

役員

(平成19年6月27日現在)

- | | | |
|---------|----|-----|
| 代表取締役社長 | 池田 | 辰雄 |
| 専務取締役 | 笹本 | 泰彦 |
| 専務取締役 | 江藤 | 浩 |
| 常務取締役 | 田中 | 慶壽 |
| 常務取締役 | 永尾 | 卓己 |
| 取締役 | 光武 | 紀芳一 |
| 取締役 | 林田 | 敬一 |
| 取締役 | 小山 | 力也 |
| 取締役 | 古瀬 | 司 |
| 監査役 | 木村 | 幸照 |
| 監査役 | 伊藤 | 俊介 |
| 監査役 | 森田 | 哲也 |
| 監査役 | 森地 | 高文 |

(注) 1. 光武紀芳氏は社外取締役であります。
2. 森田哲也、森地高文の両氏は社外監査役であります。

本社、営業所およびグループネットワーク

■本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL.03-5687-6023(代) FAX.03-5687-6047

■大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 創建天六ビル7階
TEL.06-4802-1480(代) FAX.06-4802-1481

■名古屋支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-20-25 広小路YMDビル8階
TEL.052-232-3410 FAX.052-232-3413

■富山営業所

〒930-0106 富山県富山市高木西115
TEL.076-436-0266 FAX.076-436-0267

■北関東営業所

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL.0276-20-5071 FAX.0276-20-5072

事業所

■富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL.0766-84-3181(代) FAX.0766-84-3468

■Bangkok Liaison Office

39/3Rama3Rd.,Chongnonsee,
Yannawa,Bangkok10120,Thailand
TEL.66-2294-9258
FAX.66-2294-9260

■上海事務所

上海市徐匯区肇嘉浜路777号青松城大酒店7階707号
TEL.86-21-6443-5402/5404 FAX.86-21-6443-5407

■広州事務所

広東省深圳寶安區沙井鎮崗頭工業區
TEL.86-755-2969-5240 FAX.86-755-2969-5766

グループ会社

■高周波鋳造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL.0178-43-0127 FAX.0178-22-2468

■高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL.047-328-3201 FAX.047-328-6797

■株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL.0276-40-5005 FAX.0276-40-5008

■エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL.0766-84-3175 FAX.0766-84-3137

■Alloy Tool Steel

13525EastFreewayDrive,SantaFeSprings,California,90670-5686 U.S.A
TEL.562-921-8605 FAX.562-802-1728

■株式会社北熱

〒930-0106 富山県富山市高木西115
TEL.0764-36-1377 FAX.0764-36-1223

(平成19年3月31日現在)

株式の状況

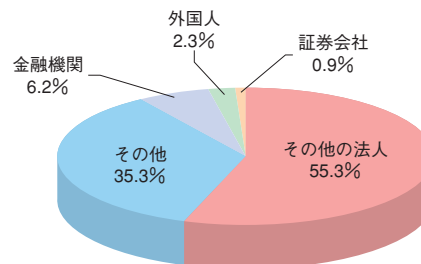
●発行可能株式総数	240,000,000株
●発行済株式の総数	146,876,174株
●株主数	17,954名

大株主

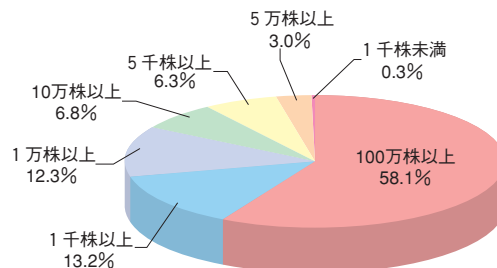
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.57
日本証券金融株式会社	2,998	2.04
浅井産業株式会社	2,712	1.84
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505019	1,337	0.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,289	0.87
豊田通商株式会社	1,100	0.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	598	0.40
三菱UFJ信託銀行株式会社 (信託口)	578	0.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	531	0.36
株式会社損害保険ジャパン	495	0.33

株式分布情報

●所有者別株式数



●所有株数別株主数



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次先	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社本店 および全国各支店
名義書換手数料	無料
公告掲載新聞	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.koshuha.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



日本高周波鋼業株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL. (03)5687-6023(代) FAX. (03)5687-6047



本報告書は、環境保全のため、古紙100%を使用し、「大豆油インキ」で印刷しています。